

## 平成21年度第4回著作権ビジネス研究会議事要旨

日時：平成22年1月18日（月）14：00～15：20

場所：CRIC会議室

議題 1. 「(一般社団法人)映像コンテンツ権利処理機構」について

議題 2. 「許諾コードの国際標準化動向とその適用事例」について

### 議題 1. 「(一般社団法人)映像コンテンツ権利処理機構」について

本研究会で副主査をつとめる演奏家権利処理合同機構 Music People's Nest 代表幹事・実演家著作隣接権センター運営委員、椎名 和夫氏が、この機構の運営会議に参画していることから、講演を依頼した。

講演では、音事協、芸団協、音制連の3団体により、2009年6月17日設立されたこの組織の内容について、配付レジュメにのっとり説明が行われた。主な事業として、映像コンテンツの二次使用に関する許諾窓口の一元化、映像コンテンツに関わる不明権利者の検索・通知などを主たる業務としていること、平成22年4月の業務開始に向け、許諾システムの流れや不明者検索方法の検討が現在進行中であることなどについて報告を受けた。

### 議題 2. 「許諾コードの国際標準化動向とその適用事例」について

早稲田大学セキュアリーガル・デジタル流通研究所（SLDDL）客員研究員、木下信幸氏に講演を依頼した。

木下氏がこの研究所内で従事している国際標準化における動向・適用事例について配付資料にのっとり報告を受けた。講演では、許諾情報を特定し、いろいろな関連情報を番号化するまでのプロセス、近年の動向、国際標準化コードの承認取得に関する情報などが語られるとともに、コンテンツをダウンロードする際のシステムが稼動する実験方法が示された。

両報告を受け、本研究会参加者からは、自己の団体の業務との関連性において、そのシステムなどについて質問がなされた。

### 3. その他

閉会にあたり、菅原主査より、次回の研究会は3月8日（奇数月第一月曜日）に開催し、本年度最後の研究会となることから、平成21年度研究会活動総括を議題に含めることが告げられた。

以上